



2012年度

「人権の花」運動実践報告書

別府市立北部中学校

「人権の花」運動実践報告

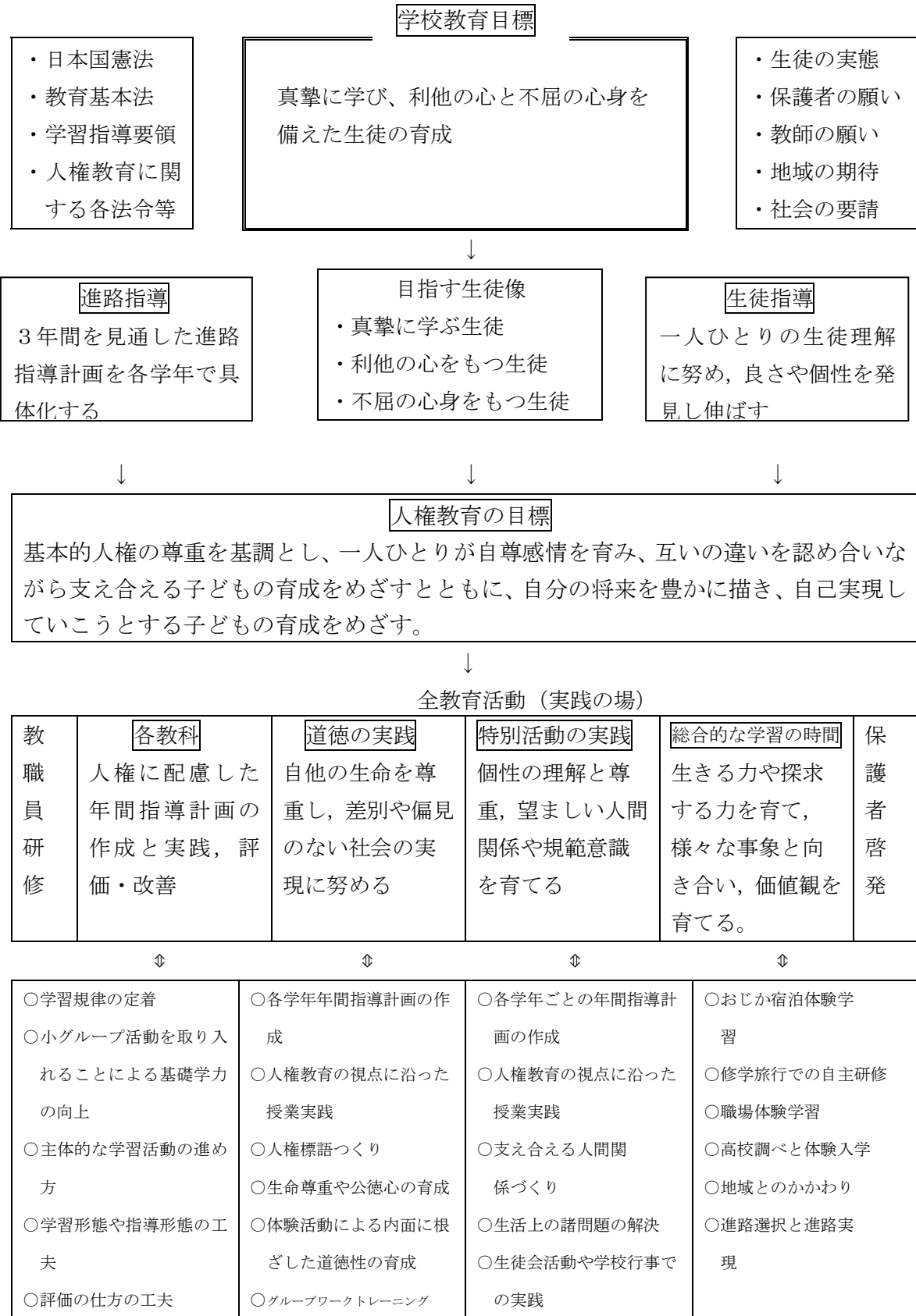
別府市立北部中学校

目 次

1. 人権学習の全体構想
 2. 「人権の花」運動の目的
 3. 「人権の花」運動でめざす生徒像
 4. 活動のスローガン
 5. 年間活動計画
 6. 活動の様子
 - (1) 指定書交付式
 - (2) 第1回苗の植え付け
 - (3) 「人権の花」コーナーの設置
 - (4) 第2回苗の植え付け
 - (5) 北部中学校人権平和週間・人権平和集会（感謝状贈呈式・風船とぼし含む）
 7. 感想
 8. 種を拾ってくださった方より
 9. 成果と課題
- おわりに



1. 人権教育全体構想



2. 「人権の花」運動の目的

人権思想の普及高揚のための啓発活動は、若年層に対して行うことがより効果的であるところから、子どもたちが協力し合って花を栽培することを通して、相手の立場を考慮すること、協力しあうこと、感謝することなどを体得させ、さらに、その成果を他の人にも鑑賞してもらうことなどにより、子どもたちの情操をより豊かにし、人権思想の育成を図る。

3. 「人権の花」運動でめざす生徒

- ・相手の立場を考えて行動できる生徒
- ・仲間を支え、協力し合う生徒
- ・利他の心を備えた生徒
- ・感謝できる生徒

4. 活動のスローガン

『大丈夫？』 優しい言葉は 私の肥料
～咲かせよう人権の花～

このスローガンは、各クラスで「人権の花」運動の取り組みの説明をしたあと、全校生徒が人権標語・スローガンを考え、その中から決定したものです。



5. 年間活動計画

(1) 主な活動内容

- 花の種や苗の植え付け
- 花の水やりと成長記録
- 種を収穫し、地域や施設等へ贈呈

(2) 活動する学年または組織

美化委員会を中心とした全校生徒

(3) 年間活動計画

月	活 動 内 容
6	・概要説明後、全校でスローガン募集・決定 ・指定書交付式 ・花の種・苗の植え付け
7	・花の栽培（水やり）成長記録 ・人権授業、人権作文、人権ポスターの取り組み
9	・「人権の花」コーナーの設置と活用
10	・夏の花の種の収穫 ・秋蒔きの花の種、苗の植え付け
11	・花の栽培（水やり）と成長記録
12	・北部中学校人権平和週間、集会（風船イベントを含む） ・別府市人権授業公開研究会

6. 活動の様子

(1) 指定書交付式

6月4日(月)に「人権の花」運動の指定書交付式が行われました。

進行は、生徒会執行部が行い、生徒会長が指定書を受け取りました。この日を迎えるにあたって、全校生徒で「人権の花」運動に取り組む意義を学習し、人権標語・スローガンを考えました。

北部中学校「人権の花」運動指定書交付式

期日：6月4日(月) 6時間目(14:10～)

式次第

- 1、はじめのことば
- 2、指定書交付
- 3、主催者あいさつ
- 4、学校長あいさつ
- 5、人権擁護委員あいさつ
- 6、来賓紹介
- 7、イメージキャラクター(まもるくん、あゆみちゃん)贈呈
- 8、スローガン発表

※着ぐるみのまもるくんとあゆみちゃんが横断幕を持って出てくる

北部中学校人権の花スローガン

『大丈夫?』 優しい言葉は 私の肥料
～咲かせよう人権の花～



9、お礼のことば

10、おわりのことば

指定書交付式の様子は、大分合同新聞（6月6日朝刊）、今日新聞（6月7日）に掲載されました。

「優しい言葉は私の肥料」

北部中学校「人権の花」指定書

別府市は4日、市立北部中学校に「人権の花」指定書を交付した。子どもたちが協力して花を栽培し、観察することで相手の立場を考慮する優しい心や協力し合うこと、感謝するなどを大切にするのも一つの目的。大分地方広務局管内の別府市、大分市、由布市が交代で校を指定しているが、今年3校を指定するが、別府市内の中学校は初めて。

永井正之・市生活環境部長が指定書を手渡し、部長が指定書の課題として「花を育てる過程で、人権にかかわるのかを考えてもらいたい。花は咲く時間は短いですが、精一杯



別府では初の中学校指定となった北中に指定書が渡された

輝いている。仲間への「二理になればと思う」などあひさつ。

伊藤貞之校長は「花を大切に育てることで協力的、慈しむ心を育てほしい。自分を大切にすることが、他人の人権を大切にすることにつながります」とあいさつ。人権擁護委員を代表して、早野博さんがあいさつをした。

生徒にキャラクターグッズをプレゼント。金銭生徒から募集して選ばれたスローガン「大丈夫か？優しい言葉は私の肥料、咲かせよう人権の花」が発表された。

の「花」が発表された。生徒を代表して、松方南美さん（3年）が「思いやり、愛、笑顔、幸せを花を育てることで大切にしたい。生徒一人ひとりが育てていきたい。秋にメッセージをうつして飛ばすのが楽しみ」と述べた。

北部中が「人権の花運動」指定校に

花を栽培することで命の大切さや思いやりの心を育む「人権の花運動」の本年度の指定校に、別府市の北部中学校（伊藤貞之校長）が選ばれ、4日に指定書の交付式が同校であった。中学校が選ばれるのは県内でも珍しいという。

交付式には全校生徒375人が出席。永井正之・市生活環境部長があいさつ



謝辞を述べる松方さん

し、生徒会長の桜木美由紀さん（3年）に指定書を手渡した。伊藤校長が「運動をきっかけに、周りの人のために積極的に行動しよう」と呼び掛けた。

全校生徒から募集して採用された牧琴音さん（1年）のスローガン「大丈夫か？優しい言葉は私の肥料、咲かせよう人権の花」を発表。生徒代表の松方南美さん（3年）が「花を育て、種を収穫するまでの一連の過程を大切に組みんでいきたい」と謝辞を述べた。同市では他に亀川、西の両小学校も指定を受けている。

交付式には全校生徒375人が出席

(2) 第1回苗の植え付け

6月8日(金) 12日(火)に段々花壇の掘り起こしやプランターに土を入れ、ポーチュラカ、ペチュニア、マツバボタン、サルビアの苗の植え付けとひまわりの種蒔きを行いました。

しかし、夏は雨が多く日当りの悪い花壇では苗が育たず枯れてしまいました。



玄関の庇の下置いたプランターはあまり雨が当たらず、夏の間元気に花を咲かせていました。



(3) 「人権の花」コーナー

全学年が通行する本館1F放送室の壁に「人権の花」コーナーを設置しました。



生徒たちの活動の様子や新聞記事などを貼り、給食の準備や片付けで通りかかった時に眺めている姿が見かけられました。

(4) 第2回苗の植え付け

夏の花は残念でしたが、秋は文化祭に研究会たくさんの来校者がお見えになるので、美化委員会全員で土を入れ替え、ビオラ、パンジー、ノースポールの苗とチューリップ、水仙の球根を植えました。



秋、冬はきれいな花が来校者を迎えてくれました。



- (5) 北部中学校人権平和週間・人権平和集会（感謝状贈呈式、風船とぼし含む）
人権意識向上のため、世界人権週間と同じ期間に、今年度はじめて人権平和週間に
取り組みました。

2012年度北部中学校人権平和週間

1、目的 北部中学校では、子どもたちは穏やかに日常生活が送れている。しかし、相手の気持ちを考えない言動がトラブルの原因になっていることも多い。
そこで、世界人権週間に人権を意識する活動に取り組むことにより、一人ひとりの人権意識にはたらきかけ、自尊感情を育み、他者理解を深めることにつなげたい。

2、期日 12月3日（月）～7日（金）

3、内容・ペイフワード

1日に3つ、誰かのために良いことをする。

帰りの短学活で「ペイフワード・シート」に記入する。

・人権平和集会

12月7日（金）3、4時間目

4、人権平和週間の流れ

30	金	短学活	世界人権デーと人権週間についてふれる 北部中学校人権平和週間の期日と取り組みの説明
3	月	朝の短学活 帰りの短学活	ペイフワードの説明をする シートを配布し帰りの短学活で集めることを告げる シートの回収とよい取り組みを紹介
4	火	朝の短学活 帰りの短学活	シートの配布 シートの回収と教師自身が行ったペイフワード紹介
5	水	朝の短学活 帰りの短学活	シートの配布 シートの回収と見かけたペイフワードを紹介する
6	木	朝の短学活 帰りの短学活	シートの配布 シートの回収と深イイ話
7	金	朝の短学活 帰りの短学活	シートの配布 シートの回収と人権平和集会の感想を記入させる。 一週間の取り組みについて振り返りをする。

①人権に関する世界宣言が、1948年12月10日に第3回国際連合総会で採択されたことを記念して、毎年12月10日を世界人権デーとし、4日～10日を人権週間としている。

②7日の振り返りで、12月8日が真珠湾攻撃により太平洋戦争が始まった日であること。加害の歴史とその残酷さ、繰り返してはいけない過ちであることを押さえる。

生徒配布用振り返りシート

2012 北部中学校人権平和週間・ペイフォワード

ペイフォワード～Pay it Forward～とは・・・

人から受けた親切を、その相手に返すことをペイバックと言います。受けた相手に返すのではなく、他の誰かに違う形で先贈りして善意を広げていくことがペイフォワード『次へ渡す』ことなのです。

北部中学校でも、意識して『毎日、誰かのために3つ善い行い』をしましょう。

クラスの仲間が善意を広げることでクラスに「ありがとう」が増え、学校中に「ありがとう」が増えます。地域にも、世界にも広がっていくかもしれません。

日	曜	自分が行ったペイフォワード	自分がしてもらったり、見かけたこと
3	月		
4	火		
5	水		
6	木		
7	金		

○ペイフォワードの取り組みの感想を書きましょう。

年 組 番氏名

2012 北部中学校人権平和集会

期日 12月7日3、4時間目（10：35～）

日程 第1部 「人権の花運動」感謝状贈呈式・風船とばし

グラウンド

<プログラム>

進行、生徒会執行部

- 1、はじめのことば
- 2、校長先生のお話
- 3、「人権の花」運動をふりかえって
・美化委員発表
- 4、人権擁護委員あいさつ
- 5、来賓あいさつ
- 6、来賓紹介
- 7、「人権の花」運動感謝状交付
- 8、風船とばし
- 9、おわりのことば



第2部 APUの学生による「世界の国々の人権問題」
プレゼンテーションとQ&A

体育館
進行、生徒会執行部

<プログラム>

- 1、はじめのことば
- 2、講師紹介
- 3、プレゼンテーション
- 4、Q&A
- 5、謝辞
- 6、おわりのことば



7. 感想（学級通信より）

一步一步

2012. 12. 10 第136歩

別府市立北部中学校 1年2組

学級通信 NO. 236

学級目標 笑 利

2012 北部中学校人権集会を終えて

美化委員の人たちを中心に花からとれた種が飛んでいくのを見てとても心があたたかくなりました。ちゃんと飛んで行って他の場所でもきれいな花を咲かせてほしいです。

APUの学生さんでの話では、それぞれの国の特徴や問題、それを解決するための取り組みを知ることができました。もっと他の国のことも知りたいです。

みんなでカウントダウンをして風船を飛ばした瞬間はすごかったです。いろいろなところに飛び、電話が北中にかかってくることを願っています。

APUの学生さんが来てくれているいろいろな国の人権について教えてくれました。他の国から来た学生さんは一生懸命日本語を話してくれていたのですごいと思いました。

日本の法律ではあたりまえに大丈夫なことが他の国では違うことに驚いたし、同時に『自由』がないので『かわいそう』だと思いました。

風船も飛ばして風船が飛んだ瞬間はいつも感じられないような気持ちになり、心温まる瞬間でした。どこかのだれかに私たちの思いが届きますように・・・

私はクラスの代表として人権の花についた風船を飛ばしました。そのときAさんが『自分たちがしょんことちめっちゃすごいことなんでな』と言って私もそうだなと思いました。あの種がどこにいくのか考えるだけでウキウキする気分になりました。

APUの方たちのプレゼンテーションでは、日本がどれだけ差別もなく自由で良い国か改めて思い知らされました。どの国も平和になればいいなあ。

日本はやっぱり人権がしっかり守られていてすごいと思った。外国には日本では考えられないようなことがあった。シンガポールはチューインガムが売られていないなんて日本ではありえない。世界にはまだまだいろいろな人権問題がある。けれど、人権が守られている日本にもまだまだあるのではないかと考えた。

美化委員さんががんばってくれて風船飛ばしことができました。

とても、とても空に風船が上がっていくようすがきれいで、私たちの思いが、あの花の種が届いた人の心に伝わるといいなあと思いながら見ていました。



ぽれぽれ polepole



発行者 瞿曇 由美

…… これからも……ペイフワードで……。……

さて、先週は「北部中学校人権平和週間」ということで、人から受けた親切を受けた相手に返すのではなく、他の誰かに違う形で渡す「ペイフワード」の取り組みをしました。

毎日誰かのために3つの善い行いを行うことで、クラスや学校に「ありがとう」のやさしい声が増えていきました。

～みんなの感想からも……。

- ・みんなの優しさを強く感じました。とてもほんわかした気持ちになりました。
- ・ペイフワードの取り組みは、とても良かったなと思います。皆が意識して善いことをするのは、すばらしい考えだと思います。この活動が終わっても自然に善いことをする人が増えればいいなと思います。
- ・普段自分がされた、した善いことを書いたり深く考えたりすることがあまりないので良い機会になった。人権平和週間でペイフワードはもう終わるけど自分の中で続けていきたい。
- ・今回ペイフワードは真剣にできました。普段は何も考えずにしているけどよくみたら、とてもいいことだったと知ることができ、とてもいい機会になりました。なので、これからも忘れずにこれを続けていけるように頑張っていきたいです。
- ・自分が相手に親切をすることの大切さを学べたので良かったです。そして、ペイフワードがなくても、これから人に親切をしていきたいです。
- ・今回はペイフワードっていう取り組みがあったからいいことをしたっていう人がいなければいいなって思ったし、意外とみんなたくさんいいことをして、してもらった人も「ありがとう」って言っていてなんかすごくいいなって思った。
- ・最初の方は慣れなかったけど、だんだん人に3つ善い行いをできるようになってきて、クラスにありがとうの言葉が増えたと思うのでとても良かったと思います。これからも人に善いことができるようにしていきたいです。
- ・ありがとうって言う声が増えたと思うし、みんながいつもより笑顔になったと思う。
- ・「ありがとう」を言う方も言われる方もどちらも嬉しい気持ちになるので良い取り組みだと思います。

さて、ペイフワードの取り組み……ずっと続けていきましょうね……。

4組さんの心からの笑顔のために……。

思いやりの心ですね。

担任のつぶやき

人権集会で人権の花の最後の取り組みとして、収穫した種を風船につけて飛ばしました。

青空にぐんぐん上がる風船を見上げる4組さんの姿にほんわかとした温かさを感じました。あの瞬間の気持ちを忘れずに……4組さんがこれからも心からの笑顔でいられますように……。

冬休みまであと少し……みんなのためにもう一度気を引き締めていきましょうね。当たり前のことを当たり前に……

8. 種を拾ってくださった方より
高知県から届きました。

届きました♡紙風船
拝啓
南園高知もここ一週間寒風が続いておりまふが、さらさら
は、いかにしようか。
仕事から帰ると庭に赤い物が落ちていたので、ゴミが飛んで
きたのかと思ひ、近づくにつれて、大分果からの紙風船と
わかり、ワクワクしながら袋を開けました。
大事に育てますね。
私は五十五才、まふと二人暮らし、子供は、三姉妹の末子
が、大学生で、皆、果外で生活しています。中学三年だと
来年は受験ですね。体調に気をつけて頑張ってくださいね。
志望校に合格されますよう高知空から、お祈りいたしますね。
お袋が表は、海の近くに住んでいます。
敬具

9. 成果と課題

美化委員会中心ではありましたが、学校全体で取り組んだ「人権の花」運動を通して、相手の思いや頑張りに気づく気持ちが芽生えたような気がします。誰かのために何かしようという利他の心、それに対して「ありがとう」という言葉が返ってくるとお互いがあたたかい気持ちになれたようでした。花を育てるように芽生えた優しい気持ちがどんどん育って学校だけでなく、地域や世界にまで広がってほしいと願うばかりです。

しかし、手間をかけ時間をかけても自然の力にはかなわず、夏は苗が絶えてしまったりよいことばかりでもありませんでした。花壇の日当たりや土の状態を考えた苗や種の選択が必要でした。また、プランターは場所によって生育が違ったことなど、これからの委員会活動に活かしていく必要があると感じました。

おわりに

今回「人権の花」運動にかかわって下さった関係各位の皆様、生徒、教職員 みなさんに大変感謝しています。
ありがとうございました。